

日々新聞

山陰二地
貞信一馬

奈良縣下長谷寺近傍
 西国灵場巡礼の
 被害これ一月の
 二十九日の未明ありて
 夫婦又娘と
 三人を路
 用の金貨
 三百両
 有りて眼の眩む宿に主人の故心
 うり嗟を月夜のぬすをば夜明ぬ述と二人を出立
 させし奸計にて途中中待と白浪の宿の亭主あ暴殺
 されを又時金貨を懐中せし娘はうり記命を助る
 さまたああが斬と人家を尋到りけり豈圖や元の宿之
 やがて毒く様子を物伝るを傍に聞居る富山の薬商大ゆ
 宿を怪して娘を言食め一計を當り宿の注すお官吏より
 縛せしと



限平三
 長善

